FMC

大事な果実・樹幹・葉を傷める重要害虫に、

食害させない。
産卵させない。

ぶどうの
クビアカスカシバに、
適用拡大！

大事な
樹幹部を守り、
樹の健全性
アップ！

マンゴーに
適用拡大！

重要害虫の食害・産卵を即効ストップ・徹底阻止。
害虫密度を長期低減。収量・品質をアップ！

果樹・茶用殺虫剤

丸和 エクシレル® SE

powered by
CYAZYPYR®
ACTIVE INGREDIENT

丸和
エクシレル®SE

農林水産省登録：第24174号 丸和エクシレルSE
有効成分：シアントラニリプロール（通称：サイアジピル®）…10.2%

果樹総合版
殺虫剤分類 28

適用害虫と使用方法

2022年10月26日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
りんご	ハマキムシ類、シンクイムシ類 ヒメボクトウ	2500～5000倍	200～700ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ ケムシ類、ヨモギエダシャク オオタバコガ、コガネムシ類	5000倍					
もも ネクタリン	ハマキムシ類、ケムシ類、コガネムシ類						
	モモハモグリガ、シンクイムシ類	2500～5000倍					
なし	ハマキムシ類、シンクイムシ類、ヒメボクトウ						
	ケムシ類	5000倍					
	アブラムシ類	2500倍					
おうとう	ハマキムシ類、ケムシ類、オウトウショウジョウバエ アザミウマ類、コスカシバ、コガネムシ類						
小粒核果類 （すももを除く）	ケムシ類	2500～5000倍					
すもも	シンクイムシ類、ケムシ類						
ぶどう	ハスモンヨトウ						
	ケムシ類、アザミウマ類 コガネムシ類、クビアカスカシバ	5000倍					
かんきつ	アゲハ類、ケムシ類、ハマキムシ類アザミウマ類 ミカンハモグリガ、ミカンキジラミ、 ヨモギエダシャク、ケシキスイ類、 ゴマダラカミキリ成虫、チャノミドリヒメヨコバイ コアオハナムグリ、ハスモンヨトウ、カネタタキ						
かんきつ （苗木）	ミカンハモグリガ、アゲハ類 ゴマダラカミキリ成虫、アブラムシ類	100倍	30～500mℓ/樹 （但し、130ℓ/10aまで）	育苗期			
ブルーベリー	アブラムシ類	2500倍	200～700ℓ/10a	収穫前日まで			
	オウトウショウジョウバエ、ケムシ類	5000倍					
いちじく	アザミウマ類	2500倍		収穫14日前まで	2回以内		2回以内
マンゴー		2000倍		収穫7日前まで			
茶	ヨモギエダシャク、チャハマキ チャノコカクモンハマキ、チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ マダラカサハラハムシ、ハスモンヨトウ		200～400ℓ/10a	摘採7日前まで	1回		1回

⚠効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- アルカリ性の農薬や肥料との混用は、有効成分が分解するおそれがあるのでさけてください。これらの薬剤と混用する場合には、メーカーや販売店等に問い合わせるなどして、分解の有無を十分確認してから使用してください。
- やむを得ず、他の薬剤と混用する場合には、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。
- ぶどうへは、果粉溶脱及び薬斑を生じるおそれがあるので、袋かけ以降に使用してください。また、無袋栽培（傘掛けを含む）には使用しないでください。
- 過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせて使用してください。
- 適用作物群に含まれる作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響を与えるおそれがあるので、散布の際はミツバチ及び巣箱にかからないようにしてください。また、散布直後から1日後まではミツバチを散布区域外に移動させるか、巣門を閉じてください。
- マメコバチに対して影響を与えるおそれがあるので、マメコバチの訪花期間中は散布しないでください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

殺虫剤分類 28

殺虫剤抵抗性管理（IRM）

一般推奨事項：薬剤抵抗性の急速な発達を防ぐために、同一作用機構を持つ製品を連続する複数の害虫世代間にわたって処理することは避けること。ブロック式ローテーション、即ち、エクシレル®SEまたは他のグループ28殺虫剤の「ブロック」の後に、異なる作用機構を持つ有効な殺虫剤処理の「ブロック」が続く形でローテーション使用すること。年間を通じて適用されるすべての「グループ28使用ブロック」の合計暴露期間は作付期間の50%を超えてはならない。栽培期間の短い作物は1栽培期間を1ブロックとする。IPM手法の一環として防除体系に組み込むこと。
害虫の抵抗性、作用機構及びモニタリングに関する追加情報の参照サイト
(1) Insecticide Resistance Action Committee（IRAC）ウェブサイト https://irac-online.org　(2) https://www.fmc-japan.com/trendinfo/irac

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

©2023 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。

MBC 丸和バイオケミカル株式会社
■本社
〒101-0041　東京都千代田区神田須田町2-5-2
TEL.03-5296-2314　https://www.mbc-g.co.jp
お問い合わせ窓口／TEL.03-5962-9731
（9時～17時 土日祝を除く）
■札幌／TEL.011-222-1285
■仙台／TEL.022-261-1103
■名古屋／TEL.052-951-7234
■大阪／TEL.06-6484-6850
■福岡／TEL.092-714-7101

製品情報は
こちらから➡